

栄養教員の過酷な労働実態「一人ではもう限界」

豊かで安全・安心な学校給食のために栄養教諭の複数配置を

9月の吹田・摂津・守口支援学校における株式会社「ホーユー」の給調理業務停止問題で、あらためて民間委託化の問題が浮き彫りになりました。37校中33校で民間委託化されているのも、栄養教員がどのような働きかたをしていて、困難さや課題があるか、今回の事案を機に、栄養教員のみなさんから「声」を寄せていただきました。大障教では、この現状を広く知らせ、給食のあり方をみんな考えていくために、「豊かで安全・安心な給食を考えるつどい」を開催します。

多忙すぎる栄養教員 一人職種は限界に

栄養教諭は異物混入やミスが起こらざる給食提供できるか、日々不安を抱えながら出勤しています。一人職種であり、業務は多岐にわたっているため、業務の詳細を知る人は少ないです。多忙な状況でも、児童生徒の「給食美味しかった」の声に励まされ、どんなに大変でも責任を果たそうとふんばっています。栄養教諭として、どんな献立でも美味しく食べて欲しいから自分のしんどさは周りには言いたくない思いもあります。

実際、一人職種のため、自分が休んでしまったときには、膳室の見守り準備など、自分がいつも行っている業務を他の人にお願いするときに気を遣ってしまいます。

大障教ニュース

大阪府立障害児学校教職員組合
大阪市天王寺区東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

場合、代替は無資格の非常勤補助員の配置となり、栄養教諭の業務量は変わらずに短時間勤務で業務をこなさなければならぬので、現状は極めて取得にくいです。

休んでも代替が見つからない

産育休や病休などを取得する場合、現行の制度では、栄養教諭の代替は、栄養士の資格を持つ臨時職員（臨時技師）になります。一部の自治体で導入されている栄養士の講師登録制度が大阪府にはありません。現状、体育実技軽減や産育休、病休などの代替がなかなか見つからず、栄養教諭が色々な業務を頼つて声をかけなければいけない状況です。実際、献立作成や発注作業があまりない市町村に

行きたいという理由や他市の講師登録をしているという理由で断られますが、代わりの方が見つかったとしても、業務量に見合った引継ぎ期間も保証されてないため、後任の方の不安感が強くあります。根本的に雇用の条件を改善することができ、栄養教諭の代替は必要です。栄養教諭の免許を必須とし、それに伴い、給与体系も教員の代替講師と同等にしてほしいです。

1月1日、石川県・能登半島を大きな地震が襲いました。亡くなられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

1月6日・7日に第23回全国障害児学級・学校学習交流集会が愛知県で開催されました。正直に言えば、私は日々明らかになる甚大な地震被害を思い、重苦しい気持ちで名古屋に向かっていました。そんな私に「希望」を与えてくれたのが、集会のなかでのいくつもの出会い・学びでした。その一つは、集会オープニング企画の手話ロッカバンド「BRIGHT EYES（ブライトアイズ）」のステージでした。ブライトアイズは、名古屋聾学校の生徒が結成し、全国各地で演奏活動をしています。バンド名には、「耳は聞こえないが瞳がある」というメンバーの思いが込められています。重度の聴覚障害者には楽器の音もボーカルの声も聞こえません。そんな困難を乗り越えた心を搖さざる演奏とメッセージ性のある曲を感動しました。私はブライトアイズの姿を通して、人間の持つ心の強さと発達の可能性を再発見したのです。

年の瀬、私は支援学校高等部に在籍する青年と生駒山を歩きました。展望台に立ち冬の青空を望みながら、新しい年のことを思っていました。ガザの人道危機、ウクライナ侵略という大きな逆流のことで、どこに「希望」を見出すのか。愛知の集会の中で再発見できた「人間の心の強さと発達の可能性」を私は信頼したいと思うのです。たとえ小さくとも、教師の一人として子どもや青年に平和で豊かな社会を手渡すために行動したいと思うのです。拙歌を掲げコラムの結びとします。

大障教は、栄養教諭の複数配置や講師登録の制度化などを求めています。
豊かで安全・安心な給食について、みんなで考えませんか。「つどい」への参加を呼びかけます。

豊かで安全・安心な給食を考えるつどい

～栄養教員の働き方から見る、学校給食の状況について～

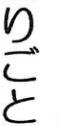
日時：2024年2月9日(金)
19:00～20:40
場所：たかつガーデン 2階コスモス
オンライン併用

ミーティングID: 822 6246 3516 パスコード: 0209
入室は 18:30～可能です。
表示名は、【学校名・名前】でお願いします。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/>

Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

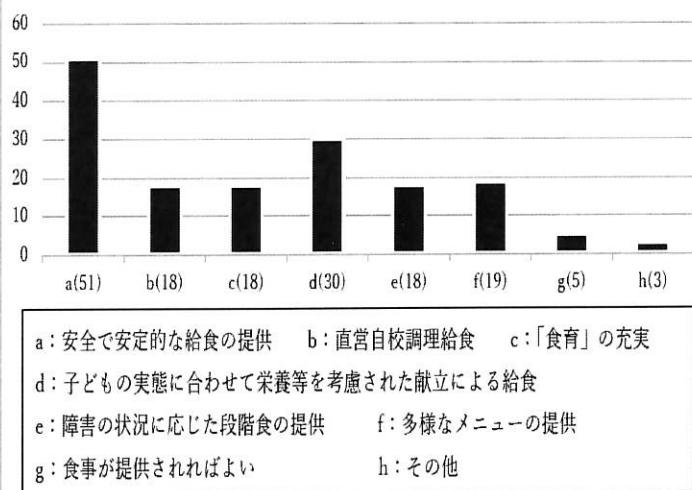
書記局の
ひとりごと



「ホーユー」の突然の業務停止に伴って、吹田支援学校・摂津支援学校・守口支援学校の3校で給食の提供がストップし、子どもに大きな不安と混乱、保護者や教職員に大きな負担が生じました。今後の子どもたちの安心安全な学校給食について考えしていくために、当該校の各分会がアンケートにとりくみ、教職員の声を集約しました。

②給食停止～再開を経て、あらためて「学校給食」

に対して望むものは何ですか？（複数回答可）



【給食アンケート自由記述 一部抜粋】

- 変更が苦手な子どもたちにとってどれほど精神的に苦痛だったか計り知れない。給食が戻りみんなで大喜びしたが、児童の中にはこの変化もしんどい子がいた。
- アレルギーの子は弁当の中にアレルギーのものが少しでも入っていたら食べられない。2品目除去のお弁当は、ご飯と野菜だけで、保護者の方も驚かれ、家から持参してもらっていた。
- 子どもたちの命に直結する部分なので、行政が責任を持つて、お金をかけて、安心安全な給食を提供してほしい。
- 以前のように府直営なら起きたかった問題。本来、公がすべきことを民営化することで、業者の倒産、給食停止という最悪のことが起こったのだと思う。府直営に戻してほしい。

よりよい学校給食への願いを出しあおう

3つめに、今回の事態を受けて子どもたちの様子や困ったこと等自由記述を求めました。回答には、子どもたちの混乱や保護者の負担、栄養教員をはじめ教職員の鬱鬱で緊急事態を乗り越えた様子、民間委託化の問題等さまざまなお声が寄せられました（図み枠参照）。

今回の3校における給食停止問題は起きてはならない事態が生じました。大阪府の給

大障教3分会で給食アンケートを実施

学校給食は教育活動であり、子どもの成長発達に大きな影響を与えます。それゆえ、豊かで安全な給食が安定的に提供されなければなりません。しかし、3校で急遽提供された「デリバリー弁当」では、給食で提供できていた段階食やアレルギー対応は十分にできず、家庭から補食を持参せざるを得ない状況も生じました。当該の3校については、調理業務委託会社との新規契約により、9月中下旬以降順次給食の再開の運びとなりました。しかし、大阪府が掲げる「学校給食民間委託化方針」では、豊かで安全な学校給食の安定的供給に、再び大きな問題が生じる懸念がありました。そのため、今後子どもたちの安全安心な学校給食につ

大阪府の直営による給食提供を求める声が多数

アンケートでは、3つの質問を設定しました。「1. 今回答した教職員の多数が大阪府の直営で雇用された調理員に

より安定的な給食の提供を望んでいる」とがわかりました。

安全で安定的な学校給食の提供を

「2. 給食停止から再開を経て、あらためて『学校給食』に対する望むものは何ですか？」という質問には、「安全で安定的な給食の提供」（87%）、「子どもの実態に合わせて栄

養等を考慮された献立による給食」（51%）、次いで「多様なメニューの提供」「直営自校調理給食」等の回答が続

みました（図参照）。今回の事態を経て、多くの教職員が

